

経理部と原価管理部**以外**のための

工業簿記 2 級講座

BY 生産技術部

第5回 試算表～決算整理 (3級の範囲)

講師：テキーラのジン割り

簿記知識は経理部だけのものではない。全員のものだ。



説明順序

- 簿記のアウトプット（復習）
- 試算表の作成
- 決算手続き
- 決算整理
- 過不足金整理
- 減価償却
用語、種類、計算方法

簿記のアウトプット(復習)

・貸借対照表

資産（建物、設備、現金など）と負債（借金など）。
企業の財政状態を要約。

・損益計算書

収入と支出と損益。（≡売上一原価）
企業の経営の成績を要約。

・これらを作るための流れ

- ・日々の帳簿付け（仕訳）
 - 毎月の試算表作成
 - 決算（年1回）の財務諸表作成

試算表の作成

- 各仕訳を勘定科目ごとに転記（集約）

借方 (Debit)		貸方 (Credit)	
仕入	1,000	現金	1,000
売掛金	2,000	売上	2,000
備品	3,000	当座	3,000

転記



転記



転記



仕入			
現金	1,000	-	-

現金			
繰越	5,000	仕入	1,000

売掛金			
売上	2,000	-	-

備品			
当座	3,000	-	-

当座預金			
繰越	6,000	備品	3,000

売上			
-	-	売掛金	2,000

試算表の作成

- 合計試算表（**全ての勘定科目が記載**）に転記（集約）

仕入			
現金	1,000	-	-

現金			
繰越	5,000	仕入	1,000

売掛金			
売上	2,000	-	-

売上			
-	-	売掛金	2,000

備品			
当座	3,000	-	-

当座預金			
繰越	6,000	備品	3,000

集約



借方合計	勘定科目	貸方合計
4,000	現金	-
3,000	当座預金	-
2,000	売掛金	-
-	買掛金	-
-	売上	2,000
1,000	仕入	-
3,000	備品	-
-	資本金	11,000
13,000	合計	13,000

- 借方合計 = 貸方合計**
→ 不一致ならミスあり。
- 月1作成でチェック。

決算手続き

・決算

会計期間の財政状態 & 成績を集約。

個人商店→12/31締め (税金計算は年で実施)
株式会社→いつでも可 (日本企業は3/31が多い)

・決算手続きでやること

試算表作成

→決算整理→精算表作成

→損益計算書 & 貸借対照表作成

→帳簿締め切り



決算整理

・ 主な決算整理内容

- ・ 過不足金整理
- ・ 減価償却
- ・ 固定資産売却
- ・ 貸倒引当金の設定 etc

※ 3級、2級の各学習範囲で、上記以外の整理事項あり。
本講座の趣旨から外れるので割愛。
本などで自習ください。

過不足金整理

例) 帳簿上の現金残高は5,000円だが、4,800円しかない。
帳簿上の当座預金残高は6,000円だが、6,300円ある。

借方 (Debit)		貸方 (Credit)	
雑損	200	現金	200
当座預金	300	雑益	300

処置方法

精査してもわからなければ、**雑損、雑益に振替**。

減価償却

例) 取得価格9,000円の設備（9年定額）を償却。
8月稼働の4,500円の設備も同様に償却。
共に、残存価値10%、3月締め、間接法で処理する。

固定資産

事業の用に供するため、1年以上、使用する資産。

減価償却

資産の帳簿上の価値（簿価）を減らす。

取得価格

資産の取得に要した金額。本体価格＋付帯費用。

残存価値

償却期間終了後に残る資産の価値。



減価償却

例) 取得価格9,000円の設備(9年定額)を償却。
8月稼働の4,500円の設備も同様に償却。
共に、残存価値10%、3月締め、間接法で処理する。

間接法

簿価自体は減らさない。貸方に償却累計額を計上。

直接法

簿価を直接減らす。

月割計算

稼働期間が〇ヵ月であれば、 $\frac{\text{〇}}{12}$ を掛ける。

減価償却

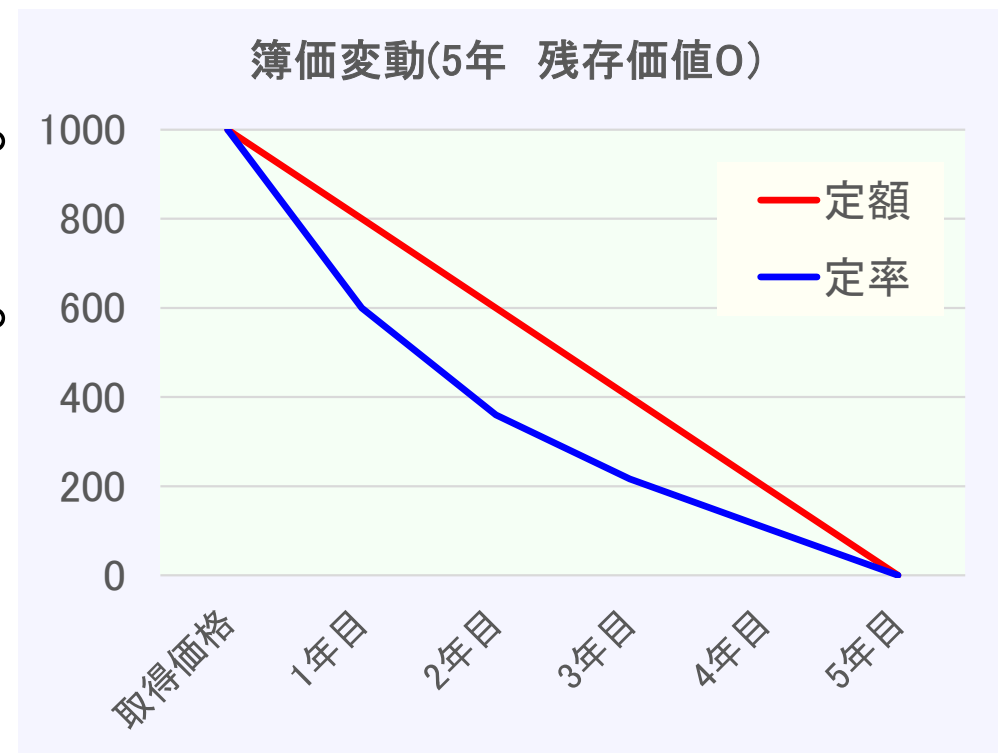
例) 取得価格9,000円の設備(9年定額)を償却。
8月稼働の4,500円の設備も同様に償却。
共に、残存価値10%、3月締め、間接法で処理する。

○年定額

同じ金額だけ価値を減らす。

○年定率

同じ比率だけ価値を減らす。



減価償却

- 例) ①簿価9,000円の設備（9年定額）を償却。
②8月稼働の4,500円の設備も同様に償却。
共に、残存価値10%、3月締め、間接法で処理する。

借方 (Debit)		貸方 (Credit)	
減価償却費	900	備品減価償却累計額	900
減価償却費	300	備品減価償却累計額	300

①の計算方法

$$\text{取得価格} \times (1 - \text{残存価値}) \div 9\text{年}$$

②の計算方法

$$\text{取得価格} \times (1 - \text{残存価値}) \div 9\text{年} \times 8\text{ヵ月} \div 12\text{ヵ月}$$



公式サイト

URL

<https://industrial-bookkeeping-2nd.com/>

講義内容のPDFをダウンロードできます。
予習復習に活用ください。

チャンネル登録よろしくお願ひします。
次回もご視聴ください。

このページは毎回コピペです。

簿記2級に合格するには

注意

本動画を視聴するだけでは簿記2級に合格できません。
手を動かして勉強しましょう。

合格するためのステップ（私の場合）

- ・教科書を2回読む。
- ・教科書の例題を2回解く。
- ・問題集を2回解く。
- ・模試の問題集を2回解く。

- ・簿記3級→簿記2級の順に取得。

このページは毎回コピペです。今回は3級の範囲です。